自動運転のレベル（運転支援から自動運転まで）

自動運転の車は、どこまで運転をまかせられるのだろう

知っておくこと（国土交通省、2026年5月）

一定の条件とは
時速50キロ以下、晴天、高速道路上など

2020年　レベル3が制度の上で可能に

2023年　レベル4が制度の上で可能に

自家用車　今は、レベル2で走っている

レベル1

縦または横の
一方向だけ
運転支援

例：自動ブレーキ
車間距離を保つ

レベル2

縦・横方向に
運転支援

例：運転者が見ている
下で、自動で
車線変更

レベル2++

高度な運転支援
（運転者のかかわり
をほぼ必要としない）

例：複雑な交通の中
での精度の高い
走行

レベル3

一定の条件下で
自動運転
条件の外では運転者
が安全を守る

例：画面を見る
携帯電話を使う

レベル4

一定の条件下で
自動運転
条件の外でも車が
安全を守る

例：無人運転

レベル5

いつでも、
どこでも、
無人運転

運転者が周りを見る（運転支援）

システムが周りを見る（自動運転）

考えたいこと

- 運転支援の車では、運転するのは人。システムに任せきりにしない
- 条件の外では、だれが安全を守るか（レベル3は運転者、レベル4は車）
- 区分や呼び方は、技術や制度に合わせて見直されることがある（例：レベル2++）



※ レベルの区分と例は、国土交通省「自動運転の推進に関する取組状況」（2026年5月）による。